



学校情報・入試情報

令和7年度入学者選抜用

学校（学科）情報

学校名	とちぎけんりつなすたくようこうとうがっこう		所在地	〒329-2712 那須塩原市下永田4丁目3-52		学校HP
	栃木県立那須拓陽高等学校		電話	0287-36-1225		
課程	生徒数（R6.5.1現在）	設置学科（コース）	アクセス	JR西那須野駅より徒歩7分		
全日制課程	普通科 223名 農業経営科 115名 生物工学科 121名 食品化学科 115名 食物文化科 118名	普通科・農業経営科 生物工学科・食品化学科 食物文化科	URL	https://www.tochigi-edu.ed.jp/nasutakuyo/nc3/		

スクール・ミッション

持続可能な食・農・環境・地域を目指す学習を通して、自らの力で人生を拓き、広く社会に貢献する人材を育成する学校

スクール・ポリシー

育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)
本校では、次のような資質・能力を育成します。 【全学科共通】 ○主体性と協働性を高めるとともに、学力とコミュニケーション力を育成します。 ○現状を分析し課題を発見する力と、課題解決に必要な思考力・判断力を育成します。 【普通科】 ○共生の精神を身に付け、他者や社会に奉仕する心を育成します。 【専門学科】 ○地域社会の発展に貢献し、産業界で活躍できる技術力・実践力を育成します。	本校では、次のような教育活動を実施します。 【普通科】 ○学科の枠を超えた多様な選択科目を設定し、生徒の主体性を養う学習を行います。 ○生徒の希望する多様な進路を実現するために、個に応じた学びを提供します。 ○地域資源等を活用し、協働的に取り組む学習活動を行います。 【専門学科】 ○自ら考え、課題に対し研究・探究していく学習を実施します。 ○多様な選択科目を設定し、生徒個々の関心や進路希望に応じた学びを実現します。 ○地域と連携し、勤労観や職業観を養うキャリア教育を推進します。	本校は、次のような生徒の入学を期待しています。 【全学科共通】 ○他者への思いやりを持ち、積極的にコミュニケーションを取ることができる生徒 【普通科】 ○地域社会の発展や地域環境に関心を持っている生徒 ○社会に貢献するために、他者と協働しながら、リーダーシップを発揮できる生徒 【専門学科】 ○生物生産や食に興味があり、実験・実習に関心を持っている生徒 ○専門性を身に付け、地域社会の発展に貢献したいと思っている生徒

特色選抜情報

定員の割合	出願するための資格要件	選抜の手順等
【全学科共通】30%程度	<p>中学生として身に付けるべき基本的な生活習慣と本校での学習に適應できる確かな学力を備えていることに加え、志願する科の特性を十分理解した上で、それぞれの科ごとに(1)(2)のいずれかまたは全てに該当する者</p> <p>【普通科】 (1)普通科の学習に適應できる確かな学力を有し、4年制大学をはじめとする上級学校への進学を目指して、入学後も意欲的に学習に取り組む者</p> <p>【農業経営科】 (1)農業または農業経営に対して興味・関心を示し、将来、農業後継者になることや農業関係分野の仕事に従事すること、または、農業関係大学に進学することを希望し、入学後も意欲的に学習に取り組む者</p> <p>【生物工学科】 (1)バイオテクノロジーや農業(園芸)に対して興味・関心を示し、将来、農業後継者になることや農業(園芸)関係分野の仕事に従事すること、または、農業関係大学に進学することを希望し、入学後も意欲的に学習に取り組む者</p> <p>【食品化学科】 (1)食品製造・食品化学に対して興味・関心を示し、将来、食品関係の仕事に従事すること、または、食品関連分野に進学することを希望し、入学後も意欲的に学習に取り組む者</p> <p>【食物文化科】 (1)食物・栄養・調理に対して興味・関心を示し、将来、食や調理関係の仕事に従事すること、または、食物・栄養・調理分野に進学することを希望し、入学後も意欲的に学習に取り組む者</p> <p>【全学科共通】 (2)スポーツ活動、文化活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績または優れた能力を有し、入学後もそれらに係る本校での部活動や生徒会活動に継続して取り組む意志のある者</p>	<p>【資料の取扱い】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。 2 調査書は、「各教科の学習の記録」(第1学年～第3学年)の評定(選択教科を除く)を合計(135点満点)し、段階評価を行う。 3 調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものについて段階評価を行う。 4 面接及び作文について段階評価を行う。 5 調査書の行動の記録について段階評価を行う。 <p>【選抜の手順】 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮し総合的に選抜する。</p> <p>第1次審議 【資料の取扱い】の2または3に特に優秀な評価を持ち、【資料の取扱い】の2～5のそれ以外の評価が優秀または良好な者を合格内定とする。</p> <p>第2次審議 第1次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。</p>
選抜の方法		
<p>○面接 【普通科】 個人面接 時間10分程度</p> <p>【その他の学科】 個人面接 時間10分程度 (学科に関する口頭試問を含む)</p> <p>○作文 時間40分 字数400字程度</p>		
その他・特記事項		
なし		

一般選抜情報

選抜の方法	学力検査・調査書・集団面接(専門学科)				
学力検査と調査書の評定の比重	学力検査		調査書		
	普通科	8	:	2	
	専門学科	6	:	4	
学力検査	国語	社会	数学	理科	外国語(英語)
学力検査配点	100	100	100	100	100
傾斜配点					